

## 第三中学校・第十中学校統合委員会 要 点 記 録

### 第 5 回

開 催 日 時	平成 28 年 3 月 23 日(水) 午後 6 時 30 分～8 時 40 分	
開 催 場 所	東中野区民活動センター 洋室 1・2 号	
出席者	委 員	山口竜弥、八束重宣、岸哲也、荻野嘉彦、前田純子、中村美恵、佐々木直巳、村上昌子、神山知明、澤野ゆり、三ツ谷和身、神谷真美、五十川由紀子、伊藤由香里、齊藤久、弓田豊、木村知広、辻成一郎、板垣淑子、浅野昭 (敬称略、順不同)
	事務局	学校再編担当、子ども教育施設担当、株式会社安井建築設計事務所
会 議 次 第	<b>【議事】</b> 1 新校舎の基本構想・基本計画について 2 アンケート調査について 3 その他	

### 第 5 回 第三中学校・第十中学校統合委員会 会 議 要 旨

#### 1 開会

##### 副委員長

これより第5回統合委員会を開会する。

委員長が不在のため、副委員長が職務を代理する。

本日、傍聴を希望するものはいない。

議事に入る前に、いくつか報告事項等がある。

#### (1) 統合委員会委員の変更について

(辞職者)

高根町会 小野光委員

(新委員)

上ノ原町会 八束重宣委員

※委員の辞職は3月3日付、委嘱は3月23日付

・新委員の紹介(自己紹介)

#### (2) 新委員長の選出について

・小野委員長が辞職したため、新たな委員長を選出する。委員長の選出については、「学校統合委員会の設置に関する要綱」の規定に基づき、委員の互選とする。

(新委員長)

東中野五丁目小滝町会 岸哲也委員長

#### (3) 統合委員会委員が推薦母体の会員でなくなった場合等における委嘱の取り扱いについて

#### (4) 第三・第十中学校統合新校改築にかかる施設整備について

・平成28年区議会第1回定例会子ども文教委員会へ報告したことを説明。

## 2 議 事

### 議事(1)新校舎の基本構想・基本計画について

委員長

それでは議事に入る。初めに(1)新校舎の基本構想・基本計画についてである。資料がいくつかあるが、「想定される学級数」について事務局の説明を求める。

#### ■統合新校で想定される学級数について、事務局より説明

(概要)

統合新校の学級数の推計値は3～4学級であるが、これは統合時に第十中学校の通学区域の一部を第二中学校に変更することを加味してのものである。第三中学校と第十中学校の生徒数の推計値を合計すると各学年4学級となり、また、住民登録数から平成37年度以降の生徒数増加が見込まれることから、校舎の建築にあたっては、各学年5学級まで対応できるようにする。

委員長

事務局から説明があったが、質問等はあるか。

委 員

第十中学校の28年度の1年生は81人という推計結果になっているが、そんなに多くなるのか。

事務局

学校再編計画に伴う指定校変更の特例を設けているが、この特例による第二中への指定校変更はないものとして推計している。実際に81人の生徒が入学してくると考えているわけではない。

委 員

統合前は両校の合計で生徒数が404人となっている。これが統合後に2割弱減って331人となっているが、これは通学区域の変更による減少ということでしょうか。

事務局

そのように考えてもらってよい。

委 員

三中は1年から2年、2年から3年になると、人数が増える傾向があるが、統合新校でもこの傾向を勘案していると考えてよいか。

事務局

そのような推計結果となっている。

委 員

三中では、帰国生徒の積極的な受け入れがあり、校区外から通学してくる生徒の割合が高くなっている。そういったことも見越して推計しているのか。

事務局

今までどおり帰国生徒の受け入れをしていくという想定での推計となっている。

委員長

ほかに質問がなければ、改築の理念(案)などの資料を設計事務所に用意してもらっているので、その資料の説明をしてもらいたいと思うがよろしいか。

— 異議なし —

#### ■改築の理念(案)、機能構成図(案)、配置案の比較、事例紹介(立川市立第一小学校、流山市おおたかの森小・中学校)について、安井建築設計事務所より説明

(概要)

<第三中学校・第十中学校統合における改築の理念(案)>

◎統合と公共施設併設の機会に、より地域との結びつきを大切にする「みんなの学校」をつくる

## ○みんなの学校をつくるための3つの方向性

### ①地域・学校・家庭との相互連携が図りやすい施設

教育を通じたコミュニケーションの活性化で地域全体の「総合力」「生きる力」を伸ばし、まちの魅力を高めます。

### ②多機能・高機能で長期持続可能な施設

「可変更新の容易性」「安全＋環境配慮」「標準化＋シンプル＆コンパクトとゆとり確保のバランス」を重視します。

### ③統合と公共施設併設によるスケールメリットを活かした施設

「目が行き届く教育」と「高効率な設計・運営によるライフサイクルコストの縮減」の実現を目指します。

## ○みんなの学校における4つの機能

### ①多彩な学習機能・日常生活機能

- ・日常的にICT利用が可能な一般教室、少人数教室
- ・オープン化可能な可動間仕切りの多目的教室
- ・アクティブラーニングスペース

### ②コミュニティ地域活動機能

- ・既存樹木を活かしたポケットパーク
- ・地域の歴史的史跡等を親しみやすくする
- ・世界や日本の文化を伝える「多文化・和文化センター」
- ・英語学習や帰国生徒や中野区在住の外国人との交流の場「国際センター」

### ③区民の社会参加を促す生涯学習機能

- ・区立図書館と連携する学校図書館（地域の人が気軽に立ち寄れる芹澤文庫コーナー）
- ・区民健康促進拠点としての屋内運動場と校庭

### ④地域の防災活動拠点機能

- ・屋上プールの水を利用した災害時対応WC
- ・一時宿泊対応のため床断熱、畳ストック（武道場活用）
- ・校庭に面した使いやすい備蓄倉庫
- ・教室・屋内運動場・共用部等を中心とした自然通風・自然採光
- ・太陽光発電＋蓄電設備（将来対応含む）、発電機の備え
- ・雨水貯留と再生水のWC洗浄・植栽散水利用
- ・屋根断熱と屋上緑化（庭園）による断熱性の向上

## <機能構成図(案)>

### ◎学校エリア

#### ○特別教室ゾーン

- ・理科室、美術室、技術室（木工・金工）、音楽室、家庭科室（調理・被服）、学校図書館、特別支援教室、情報処理

#### ○普通教室ゾーン

- ・普通教室×5＋ $\alpha$ 、多目的室、WC、少人数指導教室
- ・普通教室×5＋ $\alpha$ 、多目的室、WC、少人数指導教室
- ・普通教室×5＋ $\alpha$ 、多目的室、WC、少人数指導教室

#### ○運動ゾーン

- ・屋外プール、生徒更衣室、グラウンド、付属室、屋内運動場、クラブハウス

#### ○共用ラウンジ

- ・生徒会室、教育相談室、進路指導室、放送室、PTA室、保健室、印刷室、会議室、昇降口

#### ○管理ゾーン

- ・更衣室、校長室、職員室、管理室

#### ○給食ゾーン

- ・給食室

◎図書館エリア

- 地域資料、デジタル資料利用コーナー、視聴覚資料コーナー、展示

- 書架ゾーン

- ・資料、閉架書架、開架書架

- 管理ゾーン

- ・事務室

- WC、授乳室

- ロビー

- ・総合相談窓口

- ・芹澤文庫

- 共同利用ゾーン

- ・教育資料センター

- ・多目的室

- ・研修室

◎相談支援エリア

- 面接室、相談室、育成室、学習室、指導室、保健室、多目的室、観察室、静養室、職員室、管理室

- ロビー

- ・相談カウンター

- WC、授乳室

<配置案の比較>

◎A案：建物北側配置

- 周辺環境

- ・近隣への影響：建物の離隔距離は現状と大きく変わらない

- ・学校開放時の利用：開放時は学校内を一部区画し、動線として利用する

- ・災害時の対応：災害時、校庭への物資搬入がしやすい

- 学校環境

- ・校庭の明るさ：南面採光となり、明るい環境となる

- ・校庭への騒音：山手通りの騒音の影響を受けやすい

- ・校庭の利用：トラック周りにスペースを確保でき、運動会などがしやすい

- ・教室の採光：グラウンドに向けた南面採光が可能

- ・教室への騒音：山手通りから学校は十分な離隔が確保できる

- 複合施設環境

- ・動線の分散：それぞれの動線を分散することが可能

- ・図書館：中野坂上駅側だが、やや住宅地よりにある

- ・相談支援センター：まとまった駐車スペースを確保できる

◎B案：建物南側配置

- 周辺環境

- ・近隣への影響：南東の建物との距離が近くなる

- ・学校開放時の利用：開放時は学校内を一部区画し、動線として利用する

- ・災害時の対応：災害時、校庭への物資搬入がしにくい

- 学校環境

- ・校庭の明るさ：北側採光となり、暗い環境となる

- ・校庭への騒音：山手通りからは離隔がとれるが、区道には大きく接する

- ・校庭の利用：トラック周りにスペースを確保でき、運動会などがしやすい

- ・教室の採光：北側から採光を想定

- ・教室への騒音：山手通りから学校は離隔を確保しづらい

#### ○複合施設環境

- ・動線の分散：相談支援の動線と学校の職員動線が近くなる
- ・図書館：中野坂上駅に近く、アプローチしやすい
- ・相談支援センター：駐車スペースを確保しにくい

#### ◎C案：建物南西側配置

##### ○周辺環境

- ・近隣への影響：南東の建物との距離が近くなる
- ・学校開放時の利用：学校内を区画する必要なく、動線を確保することが可能
- ・災害時の対応：災害時、校庭への物資搬入は可能

##### ○学校環境

- ・校庭の明るさ：東側採光となり、明るい環境となる
- ・校庭への騒音：山手通りからは離隔がとれるが、区道には大きく接する
- ・校庭の利用：トラック周りのスペースがやや狭い
- ・教室の採光：東側から採光を確保できる
- ・教室への騒音：山手通りから学校は離隔を確保しづらい

##### ○複合施設環境

- ・動線の分散：それぞれの動線を分散することが可能
- ・図書館：中野坂上駅に近く、アプローチしやすい
- ・相談支援センター：ある程度の駐車スペースを確保できる

#### ◎D案：建物南東側配置

##### ○周辺環境

- ・近隣への影響：南東の建物との距離が近くなる
- ・学校開放時の利用：学校内を区画する必要なく、動線を確保することが可能
- ・災害時の対応：災害時、校庭への物資搬入がしやすい

##### ○学校環境

- ・校庭の明るさ：西側採光となり、暗い環境となる
- ・校庭への騒音：一部山手通りに面するが、広い道路には、大きく接しない
- ・校庭の利用：トラック周りのスペースがやや狭い
- ・教室の採光：区道に近くなるが、東側から採光を確保できる
- ・教室への騒音：山手通りから学校は十分な離隔が確保できる

##### ○複合施設環境

- ・動線の分散：相談支援の動線と地域利用の動線が近くなる
- ・図書館：中野坂上駅に近く、アプローチしやすい
- ・相談支援センター：駐車スペースを確保しにくい

#### <事例紹介>

##### ○立川市立第一小学校図書館

##### ○流山市おおたかの森小・中学校図書館

#### 委員長

先に改築の理念（案）についての意見を伺い、そのあとで機能構成図や配置の比較についての意見を伺いたい。

まずは、第三中・第十中統合における改築の理念（案）について、質問や意見をどうぞ。

#### 委員

（１）施設構成という資料があり、各教室のコマ数が表示されているが、これは何を根拠として作成しているのか。

#### 事務局

施設構成については、中野区立小中学校施設整備計画にある標準仕様をそのまま示している。これが基本形になるので、この大きさの中で考えていくことになる。

委員

総コマ数は決定されていて、どこかを増やせばどこかが減るということになるのか。それとも単純に増やしてしていくことが可能なのか。

事務局

標準仕様で示しているとおり、学校部分は7,700㎡で考えている。これより大きくしていくことは難しい。

委員

ここで要望を言っているのかどうか分からないが、要望として記録に残してもらいたい。この表の中で第一理科室、第二理科室とあるが、なぜ第一理科室は2コマで第二理科室が1.5コマなのかが分からない。準備室で0.5コマ使うと、第二理科室は1教室となり、普通教室と同じ大きさになる。普通教室の大きさで、理科用のテーブルを置いて40人座ると事故が心配だ。例えば、顕微鏡の実験で、後ろから押されて目をぶつけてしまうなど大変危険である。

次に家庭科室だが、被服室と調理室が共用となっている。被服では糸くずも出るし、さまざまなおもちゃも立つ。調理は食べ物を扱う。共用するという使い方が本当にできるのかという危惧がある。

次に多目的室だが、1.5教室では学年集会で使うのには大変狭いと思う。

次に会議室だが、地域の方々と会議や、入学式の来賓の控室として考えると40～50名が入ることが想定される。統合して地域も広くなるので、来賓も多くなる。また、教員の人数もふえる。会議室にテーブルを入れて使うことを考えると大変狭い。

次に備蓄倉庫だが、現在1教室分ある備蓄倉庫でも、何とかぎりぎり入っている状態である。統合して地域が広くなるので、単純に言えば三中与十中の備蓄倉庫を足し算するような形をイメージしている。そう考えると、本当に1教室分で大丈夫なのか心配である。

委員長

以前、普通教室がこれまでより大きくなると聞いたが、どれくらい大きくなるのか。

子ども教育施設担当

これまでの学校は縦9m横7mで63㎡だが、新校舎は縦9m横8mの72㎡なので、9㎡ほど広くなる。

委員長

第一理科室は兼用と書いてあり、第二理科室は兼用とは書いてないが、第二理科室は準備室を別に持つということなのか。

子ども教育施設担当

そういう想定ではあるが、一度持ち帰らせてもらいたい。できるだけ共用できる部屋は共用したいと考えているが、共用では不便になるということもあると思うので、もう少し検討させてほしい。

委員

教育委員会事務局の副参事は、当然前任者からの引き継ぎを受けていると思うが、中野中ができたときに、2014年度の中P連の会長会全員で視察し問題点を挙げている。そのときに被服室と調理室の共用についても問題点として挙げている。それにも拘わらず共用することになっているのはどういうことなのか。どのような対策を考えているのか伺いたい。

それからもう1点、そもそも論になるが、三中与十中、どちらの校地を統合新校の位置にするのかという時に、三中よりも十中のほうが、校庭も広く使えるということで選択されたと思う。また、複合施設については、高い容積率を利用して建てる背の高い校舎の中で、学校施設として必要なスペースを確保した後、残りの上層階のスペースに何か入れましょうという話だったはずなのに、それがいつの間にか複合施設が前提になってしまっている。

これは本当に生徒のための施設になっているのか疑問だ。この案のまま複合施設にするのであ

れば、現在の三中の位置に中学校だけつくったほうが、子どもたちのためのスペースを広くとれるのではないかと思う。原点を見失わないでほしい。

もう一つ、十中はプールが屋上にあり、周囲には高いビルがある。例えば屋根をつくるなどの対策は考えているのか。このことも中P連として毎年出している要望書に記載している。要望書がきちんと引き継がれているのか、非常に疑問だ。

子ども教育施設担当

中野区立小中学校施設整備計画は平成26年10月に策定しているが、中P連の要望書を反映できていなかったかもしれない。要望書を踏まえ、もう一度検討したい。

また、学校を第一に考えるということでは、教育委員会事務局も同じように考えている。山手通り沿いの用途地域をうまく活用して、そこに複合施設を建てるということがそもそものスタートだったと認識している。このままではみなさんが納得できるようなものではないと思うので、もう一度検討させてもらいたい。

委員

設計事務所にお願ひがある。自然通風は非常にいい考え方だと思うが、山手通りと青梅街道の交差点が近いということもあり、救急車などの騒音の問題がある。自然通風とあわせて、防音についても考えてもらいたい。

委員長

ほかに質問や意見はあるか。

委員

新校舎は何階建てになるのか。

事務局

配置の比較に当たり、一応のプランは作成しているが、現段階では、何階建てにするのか具体的には決まっていない。

委員

中野中は何階建てか。

事務局

中野中は地上5階、地下1階で、6層になっている。

委員

地域の防災活動拠点と書かれているが、これはどの地域を対象にした防災活動拠点なのか。

事務局

基本的には十中が避難所として指定されている地域だと考えている。

委員

校庭は土か、それとも何か特殊素材になるのか。

事務局

三中も十中も土の校庭なので、基本は土で考えている。ただし、決定しているわけではない。今後の検討になると思う。

委員

現在の十中の校庭は、南半分がビルの影響を受けて、冬は11時ちょっと前くらいから日陰になる。そのため、南半分は凍ったままの日も多い。南向きの校庭でもその状況なので、もし建物が南側に建った場合、校庭は一日中日陰になってしまうのではないかと心配だ。

それと配置の比較をみると、校舎を南側に配置する案が多い。校舎を北側に配置できない理由が何かあるのか。

設計事務所

日影の規制がかかっているため、敷地の北側に行けば行くほど高い建物は建てられなくなる。そのため敷地の有効利用を考え、現在の4案という形になっている。

委員長

建物の配置についての意見や質問はあとにして、先に改築の理念（案）についての意見や質問

を伺いたい。

委員

屋内運動場だが、体育館棟を建てるというイメージか。それとも校舎の中になるのか。

設計事務所

どの案も独立して体育館棟が建っているというものではない。校舎の中につくるようなイメージで考えている。

委員

普通教室の予備室が3学年分ある。特別教室として使うようなことは考えられないか。

設計事務所

特別教室として使うことも考えられると思う。

委員

改築の理念のところで、「今までの学校」と「これからの学校」とあるが、今までも地域の方にかかわりを持っていただき、地域の応援があって学校が成り立っていた。このように書かれてしまうと、地域の方があまりかかわっていなかったみたいに見えてしまい、ちょっと残念な感じがする。

また、基本的な考え方として、山手通りに面していて容積に余裕があるから複合施設にするのだということが原点だったと思う。しかし資料を見る限り図書館が非常に大きな面積で、1階の一番いいところに配置されている。複合施設をつくる以前に、まずは学校をつくるということを考えてもらいたい。図書館や相談支援施設は、余ったところに建てるということが、基本的な考え方になるのではないか。

委員

教室は一回り大きくなるということだが、開放感のある、ゆったりした教室をつくってほしい。子どもたちが勉強しやすい、環境のよい教室にしてもらいたい。

委員

みんなの学校における四つの機能の2番に、「既存樹木を生かしたポケットパーク」とあるが、その管理は誰がやるのか。そういったことも具体的に考えたうえで提案してほしい。ただし、あまり余計なものを敷地につくると、さらに子どもたちのための面積が減ると思うので、その辺も慎重に考えてもらいたい。また、学校図書館についても、誰が管理するのかということが気になる。学校長の権限で使えるスペースなのかどうか明らかにしてほしい。

事務局

ポケットパークについては、管理のことなど、十分に検討したうえで実現するのかどうか考えていきたい。

図書館については、学校が自由に使用できるこれまでどおりの学校図書館があって、その他に一般の区民が利用する区立図書館があって、学校図書館と区立図書館が連携していくという考え方で検討している。学校図書館の管理は学校になると考えている。

委員

とても不安になっている。何が不安かということ、自分が中学2年生のときに大江戸線の工事が始まって、先生の声が聞こえないほどものすごくうるさかった。今の子どもたちにはそういう思いはさせたくないと思っている。

改築の理念に、「多機能・高機能」とあるが、学校は勉強をする場所であって、図書館や相談支援はいらぬ。体育の授業を校庭でやる時の視線も気になる。いろいろな人たちが出入りするということで、かなりの警備が必要になるのではないかと考えている。

特に多機能ということで、不特定多数が来る学校には賛成できない。

事務局

複合施設を考える前に、まずは学校を第一に考えるべきだという意見をいただいた。そのことを念頭に置いて、検討していきたいと思う。

多機能・高機能について意見があったが、このことについて説明させてほしい。学校は学びの



場所だけではなくて、避難所としての機能や、地域の生涯学習の場としての機能も求められている。ここでいう多機能は、そういった意味での多機能であるということを理解していただければと思う。

委員

同じような話になるが、まず学校のスペースを十分に確保して、余ったところを複合施設として活用するという方向で考えていくべきだと思う。

委員長

一部複合施設になるにしても、優先順位を考えて進めてほしい。当然のことだが子どもたちの教育環境がよくなることを目指してほしい。これは委員全員の意見として受けとめてもらいたい。

それと複合施設になるという事情もあるので、標準仕様にあまり縛られずに、もう少し柔軟に考えてほしいと思う。

先ほど設計事務所の方から説明してもらった機能構成図（案）や配置の比較など、この点について意見や質問はあるか。

委員

建てかえることによって校庭が広くなると思っていたが、配置図を見ても広くなったように思えない。現状よりも広がっているのか。

設計事務所

まとまった形で4,560㎡以上とれているので、現状よりは広がっている。

委員

統合後は生徒数も部活も増えると思う。今でもぎりぎりで使っているので、サッカー部と野球部と一緒に活動できるのかどうかや、ほかの部活もどこで活動するのか心配だ。

事務局

校庭を大幅に大きくすることはできないが、まずは学校を第一に考えてほしいという意見など、委員の皆さんの意見を教育委員会に持ち帰り、所管とも相談して再考したいと思う。

委員長

ほかにはいかがか。

委員

先ほども意見があった校庭の件だが、人工芝にした場合のいろいろな問題点が中野中に出ていたと思う。激しい運動をすると芝がずれるし、紫外線による劣化もある。ランニングコストや子どもたちの安全上のこと、管理のこともある。土にした場合には冬場は凍ってしまうということもある。土にするならば凍結し難くするだとか具体的に考えてもらいたい。校舎のほうにばかり目が行ってしまうが、校庭も含めての学校なので、校庭の排水なども具体的に考えて進めてほしい。

委員

学校と同じ場所に相談支援の窓口があるのはどうなのだろうか。相談支援の窓口に行く子どもは、同学年の同級生と極力会いたくないと思う。施設を一緒にすることで相談に行きにくくなるのではないかと思う。

学校とは別のところにあるから、相談にいけるという声もある。あえて同じ敷地につくる意味はあるのか。

事務局

統合委員会から今のような意見があったということは、教育委員会にきちんと伝えたい。工夫できることは工夫し、なるべく相談される方の負担にならないように考えていきたい。

委員

相談したくても相談に行けなくなるというのは、おかしな話だと思う。

委員

前回、相談支援センターを併設するというのを聞いたときに、私もやはり同じように感じた。しかし、配置図を見ると、学校と相談支援の入り口は、極力離してあり、相談支援センターの入

り口は表通りではなく裏のほうになっているので、そのあたりの配慮はあるのかなと私は思った。

委員

配置の比較の資料に、駐車スペースの欄があるが、これは複合施設の利用者を前提にした駐車スペースなのか。

事務局

相談支援センターで必要な駐車スペースである。車2、3台分を想定している。

委員

車はどこから入るのか。子どもたちが出入りしないところからということによいか。

設計事務所

基本的に生徒が出入りする門と、車が入り出す門は別で考えている。

委員

子どもたちの動線に配慮して考えてもらいたい。

委員

配置の比較ということでA、B、C、D、4案あるが、B案はグラウンドが北側にあって、普通教室も北向きになっている。それなのに南側の一番いいところには図書館が配置されている。校庭が住宅地に近くなるということもあるので、B案はちょっと難しいと思う。

委員

私は、A案とB案はないなと思う。A案は校庭が山手通り沿いになり、排気ガスが気になる。B案のように校庭が北側になる場合には、凍結しないように何か対策が必要だと思う。

委員

B・C・D案は普通教室が南向きではない。授業に支障はないか。

委員

三中の普通教室は南向きではないが、特に暗いとは感じない。

設計事務所

D案は、今、方位でいうと東向きになっているが、グラウンド側に持っていくこともできる。西日を考え東向きにしているが、中学校では西日が入ってくる時間には、もう大体授業は終わっているので、西向きにするという考えもあるかと思う。

委員

私は図書館と一緒にするということが、どうしても賛成できない。やはり図書館からの視線が気になる。仮に図書館と一緒にするのであれば、図書館は地下にしてほしい。

また、学校だけで建てる場合の図面を1度見てみたいと思う。

委員長

現状の十中は校庭が山手通りに面しており、外向きになりすぎているように感じる。学校は外に開かれていることも必要だと思うし、無防備にもできないという面もある。両方の面を両立させるのは難しいかもしれないが、工夫してほしいと思う。

事務局

さまざまな意見をいただいたが、設計の前に、教育委員会の考え方をしっかり固める必要性を感じた。本日の意見は、教育委員会に持ち帰りたいと思う。

委員長

本日は多くの意見をいただいた。次回も引き続き基本構想・基本計画についての協議を行いたいと思う。事務局は本日の意見を踏まえ、準備をしてほしい。

## 議事(2)アンケート調査について

委員長

次に、(2)アンケート調査についてである。事務局の説明を求める。

事務局

前回、アンケート調査の実施方法、内容等について案をお示し、委員のみなさんの意見を伺っ

た。修正後の資料に基づき説明する。

■「アンケートについて」を事務局より説明

(主な修正内容)

○中学生は、4月中旬に第三中学校と第十中学校の新1年生合同で行う山中湖宿泊行事においてアンケート調査を実施する。このため調査対象は1年生のみとする。

○地域住民は、統合委員会委員がアンケート用紙を10枚程度持ち帰り、無理のない範囲で配付回収する。

○調査時期は、4月中旬から5月上旬とする。

委員長

修正したアンケート案について説明があったが、意見や質問などはあるか。

委員

地域住民には、委員が10枚程度配付回収するということだが、コピーして使うなど、配付枚数を増やしてもよいか。

事務局

目安がないと偏ってしまう恐れもあるので、10枚程度ということで提案している。配付枚数については統合委員会の中で決めてもらいたい。

委員

偏らないようにしたいということだが、アンケート用紙では、関係校は三中か十中かということしか聞いていない。それでよいのか。

事務局

アンケートへの回答が、たとえば、小学生の保護者なのか、あるいは卒業生なのかということは特に重要ではないと考えている。

委員長

10枚程度ということなので、皆さんの常識の範囲内でお願いできればと思う。

それでは、このアンケート調査についてよろしければ、事務局から示されたスケジュールで進めさせていただきたいと思うがいかがか。

— 異議なし —

委員長

4月の中旬までには、事務局からアンケート用紙が配付されるので、委員のみなさんの協力をお願いしたい。

**議事(3)その他**

委員長

(3)その他に移る。委員から何か発言等はあるか。

発言はないようなので、最後に次回の統合委員会の開催について日程調整を行う。

— 日程調整 —

委員長

日程調整の結果、第6回は4月21日木曜日午後6時30分から第十中学校で開催する。開催通知で確認をお願いしたい。

以上で本日予定していた議事はすべて終了した。本日の統合委員会はこれをもって終了する